利用案内

開館時間

図書館・第１閲覧室（当館所蔵資料閲覧のみ可）
火～土曜日 9:30～16:30
第２閲覧室（自習も可）
火～土曜日 9:30～16:30　※第2・4水曜日は閉室

休館日

日・月曜日、祝日、年末年始
図書館入口の掲示板・ホームページでお知らせします。

蔵書検索

https://okuraken-lib.opac.jp/opac/top
図書館ホームページからも蔵書検索できます。
https://www.okuraken.or.jp/tosyokan/

予　約

予約をご希望の場合は、電話・Ｅメールにて
ご連絡下さい。
☎045-834-6636（図書館直通）
✉okuraken-toshokan@abox3.so-net.ne.jp

貸　出

冊数：10冊　　期間：2週間
予約がなければ1回のみ延長できます。カウンター・電話・
Ｅメールで受け付けています。
貸出カードを作る際は、住所確認ができるものを
ご持参ください。

レファレンス

当館蔵書に関するお尋ねは、カウンター・
電話・Ｅメール・文書で承ります。

コピーサービス

B5～A3 モノクロ１枚20円／カラー1枚80円
範囲は著作権法によります。カウンターまでご相談下さい。
資料の状況により、お断りすることもあります。
貴重コレクションのコピーは１カット90円です。
紙またはCD-Rでの提供となります。
詳細は、カウンター、ホームページでご確認ください。

～表紙 ＜日本精神文化曼荼羅＞について～

研究所創立者・大倉邦彦が創案し、仏教学者・辻善之助等が人物を選定し、日本画家・井村方外が描いた絹本着色肖像画。昭和７(1932)年に完成しました。

設立当初は研究所の貴賓室（現在の第５集会室）に掲げられていましたが、現在は図書館第１閲覧室にあります。

聖徳太子を中心に、神道（北畠親房）儒教（菅原道真）仏教（最澄・空海・栄西・法然・親鸞・道元・日蓮）三教それぞれの奥義を極めた先哲を、四隅には日本文化を守護する存在として四天王を配しています。

駅からのご案内

東急東横線大倉山駅下車 徒歩７分

公益財団法人大倉精神文化研究所附属図書館

〒222-0037 神奈川県横浜市港北区大倉山２丁目10番１号
電話：045-834-6636（図書館直通）　FAX：045-542-0051
E-mail：okuraken-toshokan@abox3.so-net.ne.jp

お知らせは図書館ホームページをご覧下さい
https://www.okuraken.or.jp/tosyokan/

2021年６月作成

公益財団法人

大倉精神文化研究所附属図書館

《利用案内》

Okura Institute for the Study of Spiritual Culture Library

＜ 日本精神文化曼荼羅 ＞
公益財団法人大倉精神文化研究所 所蔵/井村方外 画

図書館入口

設立趣旨と沿革

当図書館は、創立者大倉邦彦（現 佐賀県神埼市出身）が心の修養や研究、教育を目的として昭和 7（1932）年に設立した大倉精神文化研究所の附属図書館です。

開設に先立ち、大倉は大正末から昭和にかけてヨーロッパを視察し、諸外国の図書館事情を調査しています。開館当初から、多くの研究者や学生の利用がありました。戦後は、「大倉山文化科学研究所附属図書館」と称した時代、国立国会図書館の支部図書館時代などを経て、昭和 63（1988）年より現在の形で一般公開しています。

平成 30（2018）年 7 月 26 日には、佐賀県神埼市立図書館と姉妹図書館提携をしました。

所蔵資料の特色

蔵書は、哲学･宗教･歴史･文学の入門書から専門書まで 10 万 6 千冊に及びます。中でも和洋精神文化の融合を追究する専門図書館として収集した神道・儒教・仏教関連の専門書の資料群や約 4 万冊の貴重コレクションは、全国的にも貴重なものです。

“精神文化研究による社会貢献”を目標とした大倉の思想を未来につなげてゆく研究所の附属図書館として、今後も更なる資料群の充実を目指しています。

第 1 閲覧室

第 2 閲覧室（貸出カード登録者のみ利用可）

当館貴重コレクションのご紹介

館内閲覧可／複写要相談／詳細はホームページをご覧ください.
ご利用希望の方は事前に電話・E メール等でご相談ください.

（ｲｱ）などは請求記号　OPAC　図書館 OPAC から蔵書検索可能　◆ 図書館 HP に一覧目録 PDF あり

研究所沿革史資料 OPAC （約 10 万件）

研究所の設立時から現在に至るまでの関係資料や、大倉邦彦に関する資料。書籍、設計図、写真、書簡など多岐にわたる。令和 3（2021）年 4 月現在 26,820 件を OPAC 公開中。（随時更新）

貴重書（ｲｱ） OPAC ◆ （347 冊）

大倉邦彦と秘書原田三千夫が大正 15（1926）年からの欧州視察の際、現地の古書店で購入した洋書の一部と、昭和初期に日本の古書店で購入した資料とで構成されているが、寄贈書も一部含まれている。

古文書古記録影写副本（ｲｲ） OPAC ◆ （280 点 763 冊）

昭和 4（1929）年から 13（1938）年までの 10 年間にわたり、東京帝国大学史料編纂所内に研究所附属の副本作製部を設置し、筆写した和書。神社･仏閣･旧家所蔵の古書、古記録及び図書の影写本である。

大名榊原家文庫（ｳｱ 1） OPAC ◆ （和書・漢籍 3,930 冊）

榊原家歴代藩主のうち、特に三代目榊原忠次の蔵書を中心とする。寛永･正保期の写本『神皇正統記』などの和書や、清朝以降の漢籍など。榊原家より購入。

金沢甚衛旧蔵資料（ｳ 3） OPAC ◆ （510 点）

古文書研究家として有名な金沢甚衛氏旧蔵の資料。人別帳・御用留・布告類に加えて、『正親町實連日記』『遠山金四郎役宅日記』などがある。

タゴール文庫（ｴ 1） OPAC （原書 159 冊デジタルアーカイブあり / 日本語文献約 100 冊）

インドの詩聖でノーベル文学賞受賞者の R・タゴールが、当研究所創立者大倉邦彦邸滞在の礼として寄贈した、ベンガル語版・英語版のタゴール著作が中心。原書はホームページにて全点デジタルアーカイブを公開中。

名古屋大周寺文庫（ｴ 9） OPAC ◆ （4,056 冊）

江戸初期から明治初期の仏教各宗派の教義・教典など仏教関係の木版本。名古屋大周寺から一括寄贈されたもの。神谷大周の旧蔵書で、海雲蔵書の蔵書印が押されている。

服部富三郎旧蔵文庫（ｴ 13） OPAC ◆ （281 点 435 冊）

広島高等師範学校教授、服部富三郎の旧蔵書。山崎闇斎学派関係資料で江戸時代の漢籍が中心。浅見絅斎ほか名古屋出身の崎門学派の写本・刊本が多い。

大倉邦彦旧蔵文庫（ｴ 14） ◆ （和書 約 3,000 冊）

当研究所創立者大倉邦彦の蔵書で、仏教哲学、禅などに関する宗教書が多く含まれる。社会教育書や時代を反映した思想関連書も多い。

旧制高等学校文庫（ｴ 15） ◆ （約 2,200 点）

旧制高等学校資料保存会が収集した明治以降の教育制度・学校史・寮史など各種の旧制高等学校資料からなり、特異な資料群を形成している。

その他、以下のコレクションを所蔵しています

松井等旧蔵文庫（ｳｱ 2）／ 水野梅暁寄贈書（ｴ 2） OPAC ◆ ／ 岩波茂雄寄贈書（ｴ 3）／ 根本剛蔵寄贈書（ｴ 4）／菅礼之助寄贈書（ｴ 5） OPAC ◆
北島亘寄贈書（ｴ 6） OPAC ◆ ／ 今泉定助寄贈書（ｴ 7） OPAC ◆／ 沼田喜雨太郎寄贈書（ｴ 8）／葛巻常四郎寄贈書（ｴ 10）／西晋一郎寄贈書（ｴ 11） OPAC ◆
上田𣪍寄贈書（ｴ 12） OPAC ◆／ 洋書コレクション ／道歌コレクション OPAC ◆／ 和装本コレクション

やさしく読める心の本

創立者大倉邦彦は幼児教育にも力を注ぎ、自身が経営する幼稚園に園児とその保護者のための図書コーナーを設けていました。

その精神を継承し、大倉邦彦没後 50 年（令和 3（2021）年 7 月 25 日）を記念し、子どもたちが精神文化（心）について学べる場として「やさしく読める心の本コーナー」を 7 月 1 日に開設します。

図書約 400 冊、紙芝居約 60 点を公開します。